

みずほマーケット・トピック(2016年10月7日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが、7～14日まで休暇のため、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は上昇する展開。週初3日、101円台後半までオープンしたドル/円相場は、日経平均株価の上昇に101円台後半まで連れ高となるも、上値は重く101円台前半で方向感に乏しい展開。その後、米9月ISM製造業景気指数の良好な結果を好感すると、ドル/円は101円台後半まで値を戻した。翌4日はストップロス巻き込みながら、ドル/円は102円台前半まで上昇。ドイツ株や米株の堅調推移を背景に102円台後半まで値を上げた。5日には、クロス円が上昇する展開にドル/円も103円台前半まで連れ高となった。その後、米9月ISM非製造業景気指数の市場予想を大きく上回る結果に米金利上昇も相俟って、ドル/円は103円台後半まで上伸した。6日は、米新規失業保険申請件数の良好な結果や原油価格上昇を背景に、ドル/円は一時週高値となる104.17円まで上昇した。本日にかけては、年内の利上げ観測も強まる中で、今晚に米9月雇用統計を控えて103円台後半での底堅い推移が継続している。
- ・今週のユーロ相場は軟調な展開。週初3日、1.12台前半でオープンしたユーロ/ドルは、一時週高値となる1.1247をつけるも米9月ISM製造業景気指数の良好な結果を好感したドル買いを受けて1.12台前半で揉み合い推移に。4日はドル買い優勢地合いにユーロ/ドルは1.11台前半まで下落したが、ECBが早期に量的緩和の縮小(テーパリング)を開始することを検討との一部報道に、1.12台前半まで急伸。5日は、米9月ISM非製造業景気指数が市場予想を大きく上回るとドル買いが強まり、ユーロ/ドルは1.11台後半まで反落するも、ECBのテーパリングに関する報道も意識される中で、再び1.12台前半を回復した。しかし、6日にはコンスタンシオ ECB副総裁がテーパリングの報道を否定したことを受けてユーロ売りが強まり、ユーロ/ドルは1.11台前半まで下落。本日にかけては、ユーロ/ドルは一時週安値となる1.1118をつける場面も見られ、現在も1.11台前半の安値圏で推移し続けている。

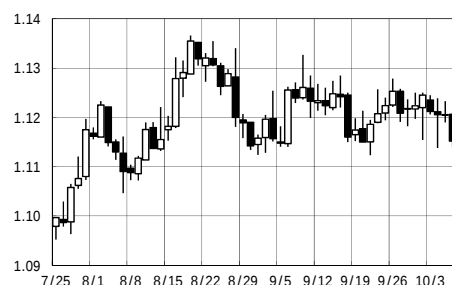
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		9/30(Fri)	10/3(Mon)	10/4(Tue)	10/5(Wed)	10/6(Thu)
ドル/円	東京9:00	101.21	101.54	101.85	102.87	103.45
	High	101.80	101.67	102.96	103.67	104.17
	Low	100.75	101.21	101.57	102.67	103.35
	NY 17:00	101.42	101.66	102.90	103.50	103.96
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1220	1.1233	1.1210	1.1209	1.1206
	High	1.1251	1.1247	1.1239	1.1233	1.1212
	Low	1.1154	1.1205	1.1138	1.1190	1.1140
	NY 17:00	1.1245	1.1212	1.1206	1.1206	1.1152
ユーロ/円	東京9:00	113.54	114.04	114.18	115.29	115.92
	High	114.14	114.13	115.38	116.25	116.29
	Low	112.61	113.65	113.93	115.13	115.72
	NY 17:00	114.00	113.92	115.32	116.01	115.94
日経平均株価		16,449.84	16,598.67	16,735.65	16,819.24	16,899.10
TOPIX		1,322.78	1,330.72	1,340.21	1,347.81	1,353.93
NYダウ工業株30種平均		18,308.15	18,253.85	18,168.45	18,281.03	18,268.50
NASDAQ		5,312.00	5,300.87	5,289.66	5,316.02	5,306.85
日本10年債		-0.09%	-0.07%	-0.07%	-0.06%	-0.06%
米国10年債		1.59%	1.62%	1.69%	1.70%	1.74%
原油価格(WTI)		48.24	48.81	48.69	49.83	50.44
金(NY)		1,317.10	1,312.70	1,269.70	1,268.60	1,253.00

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、12日(水)に前回 FOMC(9月20日～21日開催分)の議事要旨が発表される。前回会合では、政策金利が維持され、メンバーの政策金利見通し(ドット・チャート)も下方修正される一方、利上げを主張する地区連銀総裁 3 名から反対票が入った。完全雇用の影響を実感する一部の地区連銀総裁と米経済指標の動向を見極めたいメンバーとの意見の隔たりが大きくなっている可能性がある。そのため、今回の議事要旨ではメンバー間で金融政策の先行きについて意見の差が目立つと考える。また、14日(金)には9月小売売上高の発表が予定されている。8月は前月比▲0.3%と5か月ぶりに減少したほか、GDPの推計にも使用されるコア小売売上高(除く、自動車、ガソリン、建設資材、食品サービス)も同▲0.1%と2か月連続で前月比マイナスとなった。9月小売売上高は同+0.4%と、自動車販売の持ち直しを背景に回復すると市場では予想されている。但し、8月実質賃金が前年比+0.4%と7月(同+1.2%)から大きく減速するなど、個人消費を取り巻く環境に悪化の兆しが見られており、小売売上高の伸びが今後は鈍化する可能性が高まっていると言えよう。このほか、14日(金)に10月シガン大学消費者信頼感指数が発表される。FRB 高官発言では、11日(火)にエバンズ・シカゴ連銀総裁、13日(木)にハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、14日(金)にローゼングレン・ボストン連銀総裁、イエレン FRB 議長の講演が予定されている。また、来週からは米企業の決算発表が本格化する。
- ・ 本邦では、12日(水)に設備投資の先行指標となる8月機械受注(船舶・電力を除く民需)の発表が予定されている。7月は前月比+4.9%と6月(同+8.3%)から伸び幅は縮小したものの、2か月連続で前月比プラスとなった。また、8月初より円高の勢いが弱まっているほか、3日に発表された日銀短観(9月調査)では、2016年度の設備投資計画が前年比+1.7%と6月時点(同+0.4%)から上方修正されている。そのため、8月機械受注は堅調な結果になるだろう。このほか、12日(水)に9月工作機械受注の発表が予定されている。
- ・ 欧州では、11日(火)に独 10月 ZEW 景況指数、ユーロ圏 10月 ZEW 景況指数、12日(水)にユーロ圏 8月鉱工業生産指数の発表が予定されている。

	本 邦	海 外
10月7日(金)		・米9月雇用統計 ・米8月卸売売上高 ・米8月消費者信用残高 ・独8月鉱工業生産 ・IMF 世銀・年次総会(～9日、ワシントン D.C)
10日(月)	休 場(体育の日)	・ユーロ圏財務相会合(ルクセンブルク) ・独8月貿易収支
11日(火)	・9月景気ウォッチャー調査 ・9月企業倒産件数	・米9月労働市場情勢指数 ・米9月財政収支(～15日発表予定) ・EU 経済・財務相理事会(ルクセンブルク) ・独10月 ZEW 景況指数
12日(水)	・8月機械受注 ・8月国際収支	・米 FOMC 議事要旨(9月20～21日開催分) ・ユーロ圏8月鉱工業生産
13日(木)	・9月貸出・預金動向 ・8月第三次産業活動指数	
14日(金)	・9月マネーストック ・9月国内企業物価	・米9月小売売上高 ・米9月生産者物価 ・米8月企業在庫 ・米10月シガン大学消費者マインド(速報) ・ユーロ圏8月貿易収支

【当面の主要行事日程(2016年10月～)】

ECB 理事会(10月20日、12月8日、2017年1月19日)
日銀金融政策決定会合(10月31～11月1日、12月19～20日、2017年1月30～31日)
米 FOMC(11月1～2日、12月13～14日、2017年1月31～2月1日)
ユーロ圏財務相理事会・EU 経済・財務相理事会(11月7～8日、ブリュッセル)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL: 03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、确实性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2016年10月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 日銀短観 (9月調査) 日本 自動車販売台数 (9月) 米国 建設支出 (8月) 米国 ISM製造業景況指数 (9月)	4 日本 マネタリーベース (9月)	5 米国 ADP雇用統計 (9月) 米国 貿易収支 (8月) 米国 ISM非製造業景況指数 (9月) 米国 製造業新規受注 (8月) 米国 耐久財受注 (確報、8月)	6 ドイツ 製造業受注 (8月) G20財務大臣・中央銀行総裁会議 (ワシントンD.C.)	7 日本 景気動向指数 (速報、8月) 日本 毎月勤労統計 (8月) 米国 雇用統計 (9月) 米国 卸売売上高 (確報、8月) 米国 消費者信用残高 (8月) ドイツ 鉱工業生産 (8月) IMF世銀・年次総会 (～9日、ワシントンD.C.)	
10 日本 体育の日 ユーロ圏 財務相会合 (ルクセンブルク) ドイツ 貿易収支 (8月)	11 日本 景気ウォッチャー調査 (9月) 日本 企業倒産件数 (9月) 米国 労働市場情勢指数 (9月) 米国 *財政収支 (9月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会 (ルクセンブルク) ドイツ ZEW景況指数 (10月)	12 日本 機械受注 (8月) 日本 国際収支 (8月) 米国 FOMC議事要旨 (9月20～21日開催分) ユーロ圏 鉱工業生産 (8月)	13 日本 貸出・預金動向 (9月) 日本 第三次産業活動指数 (8月)	14 日本 マネーストック (9月) 日本 国内企業物価 (9月) 米国 小売売上高 (9月) 米国 生産者物価 (9月) 米国 企業在庫 (8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、10月) ユーロ圏 貿易収支 (8月)	
17 日本 鉱工業生産 (確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景況指数 (10月) 米国 鉱工業生産 (速報、9月) ユーロ圏 消費者物価 (確報、9月)	18 米国 消費者物価 (9月) 米国 米TICレポート (対内対外証券投資、8月)	19 米国 住宅着工 (9月) 米国 ページブック	20 米国 中古住宅販売 (9月) 米国 景気先行指数 (9月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景況指数 (10月) ユーロ圏 経常収支 (8月) ユーロ圏 ECB理事会 (フランクフルト) ユーロ圏 EU首脳会議 (～21日、ブリュッセル)	21	
24 日本 貿易収支 (9月) 日本 景気動向指数 (確報、8月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI (10月)	25 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (8月) 米国 消費者信頼感指数 (10月) ドイツ IFO企業景況指数 (10月)	26 日本 企業向けサービス価格 (9月) 日本 新築住宅販売 (9月)	27 米国 耐久財受注 (速報、9月)	28 日本 労働力調査 (9月) 日本 全国消費者物価 (9月) 日本 東京都都区消費者物価 (10月) 日本 家計調査 (9月) 米国 雇用コスト (7～9月期) 米国 GDP (1次速報、7～9月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、10月)	
31 日本 日銀金融政策決定会合 (～11月1日) 日本 鉱工業生産 (速報、9月) 日本 商業販売統計 (9月) 日本 住宅着工 (9月) 米国 個人所得・消費 (9月) 米国 シカゴ購買部協会景況指数 (10月) ユーロ圏 GDP (速報値、7～9月期)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
 (資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2016年11月)

月	火	水	木	金	週末
	1 日本 金融政策決定会合・展望 (基本的見解) 自動車販売台数 (10月) FOMC (~ 2日) ISM製造業景気指数 (10月) 建設支出 (9月)	2 日本 マネタリーベース (10月) 米国 ADP雇用統計 (10月)	3 日本 文化の日 米国 労働生産性 (速報、7～9月期) 米国 ISM非製造業景気指数 (10月) 米国 製造業新規受注 (9月) 米国 耐久財受注 (速報、9月) ユーロ圏 失業率 (9月)	4 米国 雇用統計 (10月) 米国 貿易収支 (9月)	
7 日本 金融政策決定会合議事要旨 (9月20～21日開催分) 日本 毎月勤労統計 (9月) 米国 労働市場情勢指数 (10月) 米国 消費者信用残高 (9月) ユーロ圏 財務相会合 (ブリュッセル) ドイツ 製造業受注 (9月)	8 日本 景気動向指数 (速報、9月) 日本 *企業倒産件数 (10月) 日本 大統領選挙、議会選挙 ユーロ圏 EU経済・財務相理事会 (ブリュッセル) ドイツ 鉱工業生産 (9月) ドイツ 貿易収支 (9月)	9 日本 国際収支 (9月) 日本 貸出・預金動向 (10月) 日本 景気ウォッチャー調査 (10月) 日本 卸売売上高 (9月) 米国 卸売在庫 (速報、9月)	10 日本 金融政策決定会合による主な意見 (10月31～11月1日開催分) 日本 機械受注 (9月) 日本 マネースtock (10月) 米国 財政収支 (10月)	11 日本 第三次産業活動指数 (9月) 日本 国内企業物価 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、11月)	
14 日本 GDP(1次速報、7～9月期) 日本 鉱工業生産 (速報、9月) ユーロ圏 鉱工業生産 (速報、9月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (11月) 米国 小売売上高 (10月) 米国 企業在庫 (9月) ユーロ圏 貿易収支 (9月) ユーロ圏 GDP(速報、7～9月期) ドイツ ZEW景況指数 (11月) ドイツ GDP(速報、7～9月期)	16 米国 生産者物価 (10月) 米国 鉱工業生産 (10月) 米国 TICレポート (対内対外証券投資、9月)	17 米国 住宅着工 (10月) 米国 消費者物価 (10月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (11月) ユーロ圏 消費者物価 (速報、10月)	18 米国 景気先行指数 (10月) ユーロ圏 経常収支 (9月)	
21 日本 貿易収支 (10月)	22 米国 中古住宅販売 (10月)	23 日本 勤労感謝の日 米国 耐久財受注 (速報、10月) 米国 新築住宅販売 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、11月) 米国 FOMC議事要旨 (11月1～2日開催分) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI	24 日本 景気動向指数 (速報、9月) 日本 GDP(速報、7～9月期) ドイツ IFO企業景況指数 (11月)	25 日本 全国消費者物価 (10月) 日本 東京都都区部消費者物価 (11月) 日本 企業向けサービス価格 (10月) 米国 卸売在庫 (速報、10月)	
28	29 日本 労働力調査 (10月) 日本 家計調査 (10月) 日本 商業販売統計 (10月) 米国 GDP(2次速報、7～9月期) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格 (9月) 米国 消費者信頼感指数 (11月)	30 日本 鉱工業生産 (速報、10月) 日本 新設住宅着工 (10月) 米国 ADP雇用統計 (11月) 米国 個人消費・所得 (10月) 米国 PCEコアデフレーター (10月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (11月) ユーロ圏 消費者物価 (速報、11月)			

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
 (資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html>

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年10月5日	ECBのテーバリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとってのテールリスクとなる「欧州の潔癖主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状(2016年6月末時点)
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版(日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量との決別、金利への転進」～
2016年9月13日	ブレインード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版(ECB理事会を終えて～注目はパラメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨(7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版(円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨(7月26～27日開催分)～自信喪失?～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6期期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～「国際金融のトリレンマ」に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半期～
2016年8月5日	週末版(総括的検証で問われるべきは「戦略」ではなく「戦略」の妥当性～「失敗の本質」は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて(7月28～29日開催分)
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて(7月26～27日開催分)
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年6月分)
2016年7月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～)
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー(7月28～29日開催分)
2016年7月20日	明らかにになり始めたBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信認を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ諦観が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版(BrexitにEUの責任はないのか?～ユーロ圏を「監獄」にしないために～)
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年5月分)
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO プレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱(Brexit)とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇気と奇襲の「ツケ」～)
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱(Brexit)を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)
2016年6月2日	消費増税先送りと「悪い円安」論について
2016年6月1日	年内「最後の円安」に備える時か
2016年5月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年4月分)
2016年5月27日	週末版(本日のトピック:ECB理事会プレビュー～目玉政策を控えて現状維持～)
2016年5月26日	投機ボジションにおける「ドル買いの正体」
2016年5月25日	米通貨・金融政策の捻じれ～「ドル高の罠」から抜けられず～
2016年5月23日	仙台G7を終えて～論点変わらず見通しに影響なし～
2016年5月20日	週末版
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて
2016年5月13日	週末版(マイナス金利導入から3か月～外的要因に圧倒される状況続く～)
2016年5月12日	円相場の基礎的需給環境について～第1四半期を終えて～
2016年5月11日	伊勢志摩合意に必要なドイツの説得
2016年5月9日	薄れる米雇用統計の影響力～「量」と「質」の捻じれも懸念～
2016年5月6日	週末版(米為替政策報告書と「秩序的(orderly)」について～結局はドル高が辛くなっただけ～)
2016年4月28日	日銀金融政策決定会合～「良い球」を逃した結末は……～
	週末版(FOMCを終えて～論点は変わらずドル高懸念～)
2016年4月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年3月分) 「原油価格上昇&円安」をどう考えるべきか?
2016年4月25日	3週間ぶりの111円台を受けて～想定通りの円安～
2016年4月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「不都合な真実」を黙殺したドラギ総裁～)
2016年4月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー～日銀版TLTRO2か～
2016年4月20日	ECB理事会プレビュー～強まる日本化・円化・日銀化～
2016年4月19日	震災と為替～2011年3月を参考にすべきか?～